



カササギの森の設立

落葉広葉樹の自然林を発見したり、訪日研修で見聞をひろめたりするうち、大同の技術者に、「自分たちの裁量で自由にいろいろ試せる林場がほしい」という意欲がでてきました。「ツアーのたびに訪れて自分が植えた木がどうなっているか見たい」「大同には行けないけれど、漠然と緑化基金でなく、ここに協力しているという実感がもてる森がほしい」そんな会員の希望をあわせてかなえることができる、実験林場「カササギの森」の建設を決め、2000年の末から1haあたりの5年間の経費5万円を一口にした募金をはじめました。01年春から植えはじめ、マツやナラなどの緑化樹種だけでなく、ハナモモやアズナギなど花を愛でる木々も植えました。春には斜面を濃淡のピンクに染めるようになるのが楽しみです。現在は600haの敷地内で植樹可能な場所はほぼ植え終わり、維持管理のかたわら成長量の調査などをおこなっています。